

 評価のポイント

CL-3.専門性の開発能力

[59-3] プレゼンテーションスキル（文脈的説明力、伝達力）

これから学会発表をするときに、または、自身の学会発表や同僚の学会発表を思い出して、より伝わりやすくするための工夫を、個人またはグループで話し合ってみてください。

ここではより良い学会発表とするための準備を行うために必要なことに気がつけることを目標にしている。そのため講義で説明された下記が含まれることが求められる。

- ・フォーマルなプレゼンだということを理解し、スティーブ・ジョブズなど一般的企業等で良いとされる方法（インターネット上でよいプレゼンテーション例として多く提示される方法）を参考にしすぎるこの問題点に気がつける。
- ・学会においてプレゼンテーション対象となる聴衆の理解ができる（同一の目的をもった、同じ医療者または同職種であることが多い、そのためモチベーションが高くある程度背景知識があるなど）。そのことを踏まえた学会プレゼンテーションの準備が必要であることに気がつける。
- ・下記の学会発表のポイントを理解している。
 - ✓タイトル：対象+明らかにしたこと+研究デザイン
 - ✓全体：ストーリー重視。ノイズを減らす。できるだけ図示。1枚に1つの言いたいこと。
 - ✓考察：文字少なめ①まとめ ②先行研究との比較 ③今後（研究、実践） ④限界
 - ✓結論：シンプル。キャッチコピーのように！
- ・学会発表には練習は必須で、原稿をできるだけ読まないことの利点が理解できる。